

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：相楽東部広域連合

プロジェクト名	相楽東部広域連合ネットワーク		実施期間	平成26年度～平成28年度	テーマ	行革・連携	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	相楽東部3町村（笠置町・和束町・南山城村）は近隣町村の大規模開発（町村合併）から取り残されており、特に京都府南部の都市化と正反対に若年層の急激な流出や少子化の波を受け、過疎・高齢化が進む自治体となっている。そのため、自治行政が平常化しにくく、特に住民サービスが関わるところでスケールメリットを活かせる分野において、3町村が連携を図り、住民の負担を軽減し、効率的な公共サービスが提供できるように取り組んでいる。							
プロジェクトの目的及び概要	広域的なスケールメリットを活かした住民サービスの提供として、質の高い情報発信や効率的な業務処理、次世代を担う若者に質の高いきめ細やかな学習機会の提供等を目的とする。							
	総事業費（千円）	196,750	本年度事業費（千円）	79,514	交付金額（千円）	13,126		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	相楽東部クリーンセンター維持改良事業	交付金事業	施設延命化を目的とした施設維持・改良事業			2号炉灰シュート更新工事、1・2号炉耐火物補修工事、雑用空気コンプレッサー他更新工事、2号井戸浚渫及び水中ポンプ取替他工事、高気圧中開閉器取替工事		
	学校施設維持改良事業	交付金事業	連合管内の小中学校施設について延命化・学習環境改善・安全化を目的とした施設維持・改良事業			笠置中学校空調設備工事、和束小学校給水設備工事施工監理業務委託・和束小学校給水設備工事、和束小学校雨漏り改修設計業務委託・和束小学校雨漏り改修工事、南山城小学校空調設備設計業務委託、南山城小学校漏水対策（シール打ち替え）工事		
	学校施設備品購入事業	交付金事業	連合管内の各小中学校の授業に必要な備品を購入し、より良い授業の実施を図る事業			和束小学校遊具（滑り台）		
	連合セキュリティ強化化・会議室改修事業	交付金事業	LGWAN回線への接続と自治体中間サーバー利用環境整備、和束町体験交流センター会議室改修事業			中間サーバー及びLGWAN回線接続関連業務委託・機器購入、会議室改修事業（改修工事、応接セット・エアコン購入）		
住民協働事業	ごみの減量化推進事業	関連事業	廃棄物処理（新たな処理方法へ向けての検討・連合を構成する3町村合同でのごみの減量化）			3町村及び連合で設立したごみ処理検討委員会の報告に基づき、今後のごみ処理と減量化対策について協議		
	各種社会教育事業	関連事業	3町村合同事業（スポーツ交流会・夏祭り等）			小学生を対象としたスポーツ交流会・スキー教室の開催、連合教育委員会が主催する夏祭りの実施		
住民が取り組む事業	各種講座の開講・受講	関連事業	管内住民自らが企画・開催・参加する講座			歴史講座、茶道教室、生花教室、料理教室等		
成果指標①	成果指標の目標数値	高等学校への高進率率（100%）の維持			成果指標の実績値（29年3月31日時点）	笠置中学校・平成28年度：30名/30名 和束中学校・平成28年度：28名/28名		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）		両校とも100%の進学率を維持しているため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）				（時期）		
成果指標②	成果指標の目標数値	笠置中学校・和束中学校の漢字・英語検定の昨年度からの合格率上昇			成果指標の実績値（29年3月31日時点）	笠置中学校・漢字検定：H27 12%→H28 8.6% （3級以上の全校生徒に占める合格率） 和束中学校・漢字検定：H27 10.7%→H28 13% 英語検定：H27 15.5→H28 11% （3級以上の全校生徒に占める合格率）		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）		昨年度比での漢字・英語検定の3級以上合格率上昇を目標にしているが、それが達成できていない部分があるため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）				（時期）		
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	●漢字検定・英語検定の合格率が両校とも目標である昨年度を下回っている部分があるので、合格に向けての勉強を進め、成功体験を得ることで生徒のモチベーションを上げ、学力向上につなげる取組を全学年において実施する。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	連合教育委員会が企画するイベント（スポーツを通じた住民同士の交流会や毎年7月に開催している夏祭り等）や、住民自身が企画・実施している各種講座との連携効果により、相楽東部地域住民の人々の心身ともに豊かにすることができた。また、廃棄物処理については地域住民に対してごみの減量や分別の徹底を啓発することにより、環境に対する意識を向上させることができた。						
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果							
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果	運転開始から17年以上が経過し、老朽化が進む廃棄物処理施設（相楽東部クリーンセンター）を改修整備することで、施設の延命化を実現し、整備不良による施設全体の負担増を未然に防止することができた。						
	その他の成果							

（記載要領）

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。